

合同チームで集大成

鳥取商女子ソフトボール部、最後の大会



後に、鳥取商女子ソフト

る鳥取県高校総体を最

までに8強が5度、08

に開幕す

91年に部に昇格し、県

上級生が抜けた昨秋か

「。3日

に同好会として発足。

しかし部員数の減少

を出し切

後の大会に臨む。

選ばれ、5位入賞にも

「鳥

トボール部は約30年の

同年の中国高校県予選

商「ユニ

部史に幕を閉じる。唯

で準優勝し、中国大会



鳥取商ソフトボール部唯一の部員、銅牛萌捕手は最後の県総体を前に、練習に力を込める＝5月27日、湖東中

牛主将は、練習に苦慮した。

「何とか大会に出たい」との思いが実り、今年の県総体は鳥取西の7人に、自校の助っ人1人を加えた9人の合同チームでの出場にこぎ着けた。

銅牛主将のポジションは捕手。「会場内で一番大きな声を出し、チームを盛り上げ、ナインを元気づけたい」。小、中学では軟式野球の経験もあり「最後の県総体では野球とソフトの集大成として、本塁打を」とバットでもひと暴れを狙う。

開会式では選手宣誓の大役も引き受けた。

「支えてくれる人や仲間へ感謝し、試合ができる喜びを伝えたい」と3年間の思いを込めるつもりだ。

(吉田吉伸)